

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年3月14日
函館市立桔梗中学校

1 本年度の重点教育目標

自分の考えをもち、適切に伝えることができる生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- 授業で重点教育目標具現に向けた取組を位置付けて実施している。
- 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業がなされている。
- 生徒は全体的に「自分の考えをもっている」と感じることがある
- 生徒は全体的に「適切に相手に伝えようとしている」と感じることができる。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
1. 教育目標・教育課程・研修	教育目標達成のために、具現化を図る手立てを考え教育活動をすすめている。	a		A	A	
2. 学習指導	基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着を目指し、学習意欲が向上する授業の構築と実践をすすめている。	b	教職員がお互いの授業を見合い、授業改善につなげる時間を設ける。	A	A	
	家庭学習の習慣化を図る指導がなされている。	c	全学年放課後学習の時間を設ける。	A	B	家庭との連携を重視した対策を図ることが必要
3. 道徳指導	全教育活動を通して、いじめ撲滅や思いやりの心を育てる指導に努めている。	a		A	A	
4. 特別活動	学級活動、生徒会活動、学校行事に対して内容の充実を図るための工夫がなされている。	b	生徒が主体となった活動となるよう、目標の設定や計画の作成を行う。	A	A	
	自己の将来を見通した生き方を考えさせる意図的、計画的な進路指導の工夫がなされている。	b	生徒が主体的に探究する課題が設定できるよう、関心・意欲が持続できる活動の充実を図る。	A	A	
5. 生徒指導	望ましい集団生活を目指し、基本的生活習慣の確立と定着に努めている。	b	基本的生活習慣の確立のため、ICT等を活用する。	A	B	家庭が課題意識をもてるよう啓発し、連携する取組が必要
	問題行動の早期発見や予防など、全校体制のもとで連携をとりながら適切な指導に努めている。	a		A	A	
6. 健康安全指導	生徒の実態に即した健康安全（感染症予防対策）に関する意図的、計画的な指導を推進している。	b	手洗い・うがい等の基本的な感染症予防を流行期に徹底するよう、委員会活動と連携する。	A	A	
7. 家庭・地域との連携	学習状況や生活の様子を学校だよりや学級通信、懇談会などで家庭や地域に情報発信している。	a		A	A	
	「地域とともにある学校」であるために参観日や地域公開授業、各種行事などで保護者や地域に対し、学校訪問の機会を十分に設けている。	a		A	A	
10. 豊かな心をはぐくむ活動の充実	授業や学校行事において、生徒が互いに認め合う場の設定を工夫している。	b	ソーシャルスキルトレーニングの充実や活動を支えている人を意図的に光りを当てるようにする。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。